

遺跡から見た 沖縄の墓と葬制

—先史・古代から中世まで—

(写真) 本部町内の洞窟で発見された先史時代人骨

2024.

4.13 土

入場
無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※ 席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。
予めご了承ください。

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。

講師 山崎 真治 (人類担当)

会場 沖縄県立博物館・美術館
博物館講座室

受付 当日先着 (定員 80 名) ※無料

お問合せ 098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

沖縄では古くからさまざまな形の墓が営まれてきました。

本講座では、近年沖縄県立博物館・美術館が調査を実施した先史時代から中世に至る各時代の墓について各地の事例を紹介しつつ、沖縄における多様な葬制の展開についてわかりやすく解説します。古代の人々が死者をどのように葬ってきたのか、そして墓の形態がどのように変化してきたのか、遺跡を通して考えてみたいと思います。



南城市前川照田嶽原 (てるたたきばる) 古墓群の木製家形墓



うるま市伊計島クルカーガマ遺跡の人骨と副葬されたホラガイ

あなたの沖縄に出会う